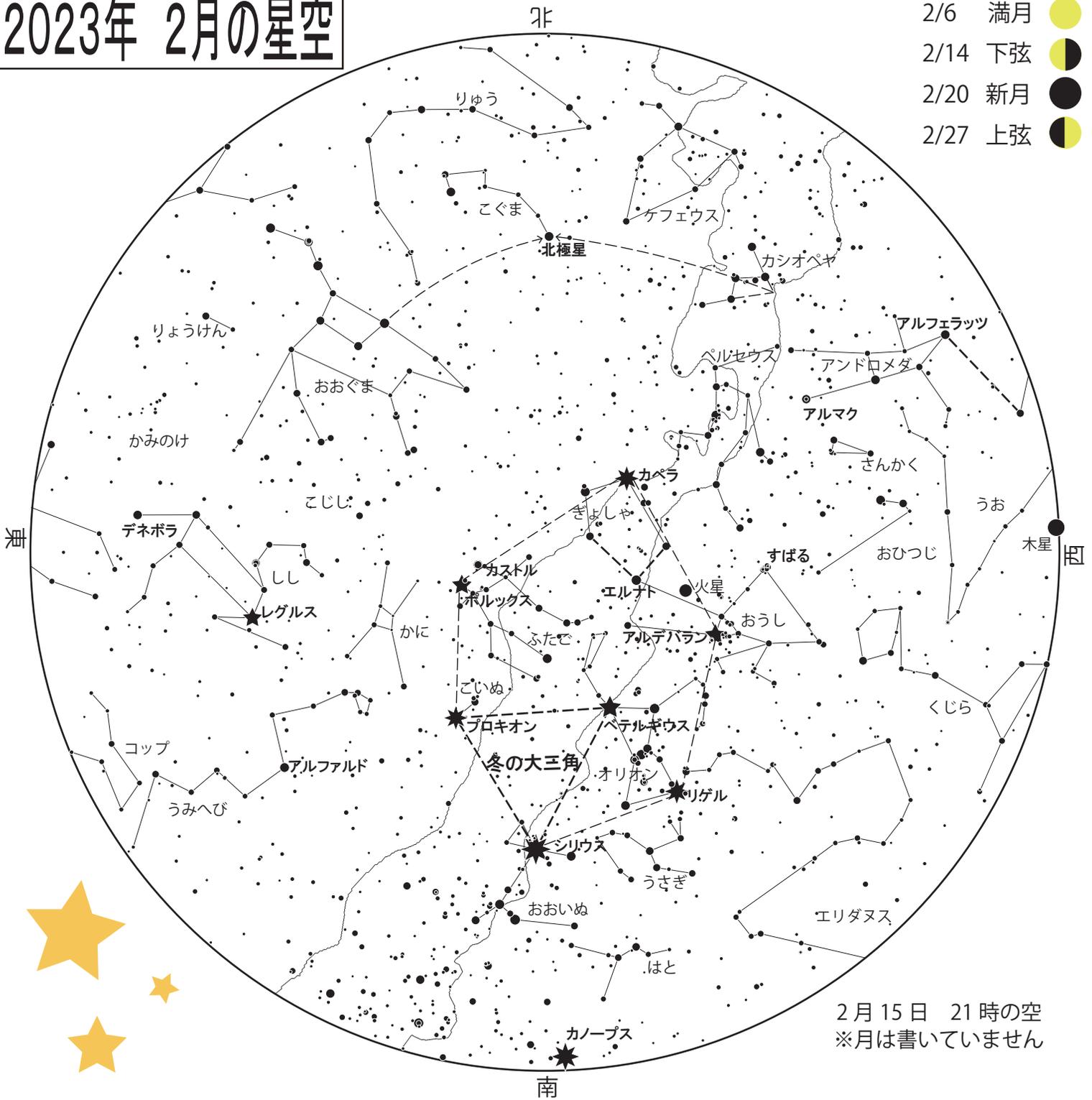


姫路で見る 2023年 2月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 2/6 満月 
- 2/14 下弦 
- 2/20 新月 
- 2/27 上弦 



2月15日 21時の空
※月は書いていません

南の空に冬の星座たちがたくさん見えています。一等星が多い冬の夜空はとてにぎやかです。おおいぬ座のシリウスとこいぬ座のプロキオン、オリオン座のベテルギウスを結べば「冬の大三角」の出来上がり。また、シリウス、プロキオン、ふたご座のポルクス、ぎよしゃ座のカペラ、おうし座のアルデバラン、オリオン座のリゲルを結ぶと夜空に大きな「冬のダイヤモンド」が完成します。南の空の低い所には、見ると寿命が伸びるといわれるりゅうこつ座のカノープスがあります。空のひらけた場所でぜひカノープス探しに挑戦してみてください。一方で東の空に春の星座たちが少しずつ顔を出しています。一等星のレグルスを持つしし座や、しっぽに北斗七星を持つおおぐま座が見えています。北斗七星からは北極星を探することもできますよ。

昨年秋から目立っていた木星がいよいよ見納めの時期となります。火星も地球接近の頃に比べるとずいぶん暗くなっています。周りの赤い星たちと見比べてみるのも良いかもしれませんね。